

新地方公会計制度による平成21年度財務諸表を作成しました

貸借対照表(バランスシート)とは

地方公共団体の決算はその年度における収入・支出の状況を表しているのに対し、貸借対照表は今までに市が建設してきた学校や福祉施設、道路、公園などの資産【市民の財産】の状況と、そのために将来負担しなければならない借入金などの負債を把握することができます。

本市では、昨年より民間企業の考え方を取り入れた会計基準で皆様に財政状況をお知らせするため、総務省より示された「総務省方式改訂モデル」を用いて財務諸表4表を作成しています。なお、本誌においては財務4表のうち「貸借対照表(バランスシート)」のみ掲載し、それ以外の4表等は市のホームページに掲載しましたので、そちらをご覧ください。

普通会計バランスシート

(平成22年3月31日現在)

借方(資金の使われ方)		貸方(資金調達のされ方)		
学校、保育園、道路、公園などの社会資本の整備に使われたお金です。	1 公共資産 学校、福祉施設、庁舎、保育園、土地、建物などの有形固定資産 893億220万円 売却が可能な未利用地など 7,505万円 893億7,725万円	社会資本の整備のため、国や銀行等から借り入れているお金などです。	1 固定負債 地方債 158億3,604万円 長期未払金 8億3,670万円 退職手当引当金 37億5,935万円 204億3,209万円	
	関係団体への出資金や施設整備などの特定の目的のために積み立てられた基金、市税などの長期滞納額などです。		2 投資など 投資、出資金 1億1,870万円 基金など 65億767万円 長期延滞債権 4億5,683万円 回収不能見込額 △1億5,378万円 69億2,942万円	翌年度に市が返済する予定の借入金などです。
			必要となるときに現金化できる基金や貯金、税などの未収金です。	
●資産合計 999億3,994万円	●負債合計 229億2,012万円			
	3 純資産 公共資産等整備国県補助金など 139億98万円 その他一般財源など 631億1,884万円 ●純資産合計 770億1,982万円	●負債・純資産合計 999億3,994万円		

※普通会計とは一般会計と仁良川地区区画整理事業特別会計の一部を合算したものです。

資産合計 999億3,994万円【1人当たり168万円(167万円)】

負債合計 229億2,012万円【1人当たり39万円(39万円)】

純資産合計 770億1,982万円【1人当たり129万円(128万円)】()内は前年度

※平成22年3月31日現在 住民基本台帳人口 59,518人

平成21年度は学校の大規模改修や道の駅、道路整備により資産が約6億7,000万円増加し、そのための借り入れもりましたが、地方債や長期未払金の繰上げ償還もあって、負債が約3億2,000万円の減となっています。